



保護者 各位

令和元年 6 月 4 日

宜野湾市立大謝名幼稚園・小学校
校(園)長 早田 実
(公印省略)

子どもの遊びに潜む危険(不発弾等)について(注意喚起)

梅雨空が続いておりますが、保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、今回、子どもの遊びの中で、「あわや、大惨事」になりかねない事案がありましたので、以下に報告し、注意を促すとともにご家庭においても確実にご指導いただきますようお願いいたします。

(裏面 平成 18 年県不発弾等対策協議会資料を参照ください)

遊びの状況

5 月 30 日 (木) 午後 6 時ごろ、マンション建築現場近く (宇地泊川沿いのパイプラインからマチナトボウルへ抜ける道) の田イモ畑周辺にて、石積みの中から不発弾 (手りゅう弾) らしきものを見つけ自宅に持ち帰る。その間、水で土を洗い落としたり、投げたり自転車カゴに入れ走り回った。

帰宅後、自宅にて保護者が危険に感じ警察に連絡し、現場を確認。周囲に同じようなものがないか調査したが見当たらなかったとのこと。



【田イモ畑に入る手前の石積み】

翌 31 日 (金) に保護者から学校に連絡をいただき、市教育委員会に一報を入れるとともに、市教育委員会を通して警察から子どもが見つけたモノは不発弾 (手りゅう弾) であったことを確認しました。子ども達には、危険なところに立ち入らないよう下校・休日の安全指導を行いました。

不発弾に関しては、昨年 9 月には那覇市内の小学校で発見され処理された事案もあります。

子どもは、危険性以上に興味関心からいろいろなモノに手を伸ばし、時には宝物にしたいと考えます。一見、石ころのように見えても、手りゅう弾や砲弾の可能性もあります。不発弾らしきものを見つけたら「さわらない」「動かさない」「大人に知らせる」「大人は警察に知らせる」ということを、共通の言葉かけとしてご指導ください。

合わせて、学校周辺ではマンション・児童センター等大型施設の建築工事が行われ、工事車両の出入りも多くなっています。立ち入り禁止区域周辺や降雨により水量が増した宇地泊川沿いの歩道等で遊んでいる子どもを見かけた際には、注意を促していただきますよう重ねてお願いいたします。

注 一見、石ころに見えても？ 手榴弾や砲弾の可能性ががあります。



米国製手榴弾 (MK2)



旧日本製手榴弾 (97式)



沖縄戦から60年余が過ぎた今なお、『鉄の暴風』と形容された日米の激しい地上戦の結果、約1万トンの不発弾が生じたとされ、現在でも約2,300トンあまりが残っていると推測されています。

現在でも沖縄の各地で不発弾が発見され、住民避難を伴う処理もしばしば行われています。このような中、近年、一見すると石ころのように見間違える不発弾が発見されています。これは、手榴弾の不発弾で、60年余の歳月が、手榴弾のまわりに付着物をまとわせ、石ころのように見えるのです。見かけは石ころのようですが、爆弾としての威力は十分残しており、大変危険です。

特に子ども達には、写真のような大人の握りこぶし程の石ころで遊ばないようにご注意ください。

もし、不発弾を発見した場合は、最寄りの交番へ連絡をお願いします。